(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号
特開2000－199114
（P2000－199114A）
(43)公開日　平成12年７月18日(2000.7.18)

(51)Int.Cl.⁷	識別記号	ＦＩ		テーマコード（参考）
Ａ４１Ｄ　27/12		Ａ４１Ｄ　27/12		３Ｂ０３５
Ａ４４Ｂ　21/00	６０１	Ａ４４Ｂ　21/00	６０１Ｅ	
	６１１		６１１Ｍ	

審査請求　未請求　請求項の数４　書面　（全 ３ 頁）

(21)出願番号　特願平10－378419

(22)出願日　平成10年12月25日(1998.12.25)

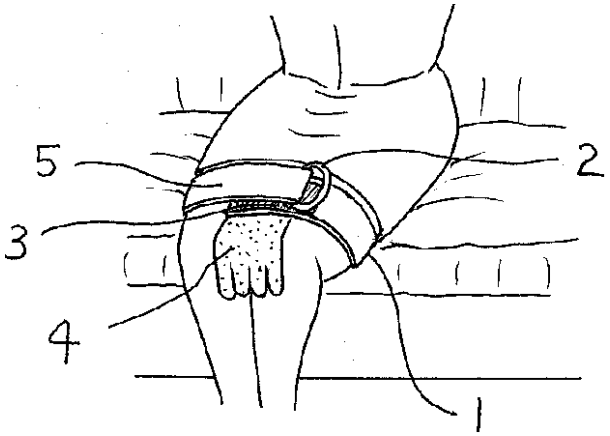
(71)出願人　599018240
堀　靖英
福岡県大野城市大池二丁目15番21

(72)発明者　堀　靖英
福岡県大野城市大池二丁目15番21

Ｆターム(参考)　3B035 AA06 AB12 AC21 AD03

(54)【発明の名称】　両足を閉じるバンド

(57)【要約】
【目的】公共の電車やバスに乗り、椅子に腰掛けているときのうたた寝は大変気持ちが良い。しかし、スカート姿の女性は油断大敵。うたた寝が長くなり、ついつい開いてしまう両足の膝・大腿部の奥に、周辺に居る男達の視線が忍びよる。本発明は一本のバンドを、膝または大腿部周辺に着脱自在に巻付け、両足が自然に開かないようにして、この悩みを解消するものである。
【構成】長いバンド１の一方の端部に把手２を設け、そのバンド１の表面５と裏面６の端部に、ペアのマジックテープ３３′をそれぞれ固着して設ける。またバンド１の一部に必要に応じてふりる４を設ける。



1

【特許請求の範囲】

【請求項１】バンド１の一方の端部に把手２を設け、そのバンド１の表面５と裏面６の端部に、ペアのマジックテープ３３′をそれぞれ互い違いに設けて成る、両足を閉じるバンド。

【請求項２】バンド１の一部にふりる４を設ける請求項１の両足を閉じるバンド。

【請求項３】バンド１の素材に織物・科学製品・動物の革を用いる請求項１の両足を閉じるバンド。

【請求項４】把手２の素材に木・プラスチック・軽金属を用いる請求項１の両足を閉じるバンド。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】本発明は、スカート姿の女性が公共の椅子やソファーに長時間腰を下ろしたとき、うっかりうたた寝しても両足が自然に開かないよう、事前に膝または大腿部周辺に巻き付けて使用するものである。

【０００２】

【発明が解決しようとする課題】スカート姿の女性が、電車・乗合バス・待合所等の公共の椅子又はソファーに腰を下ろしたとき、たいていの場合はスカートの裾から両足の膝小僧や大腿部が露出する。そんなとき、本人が一番気になるのが周囲に居る男達の視線である。女性がこうした状況下で行った従来の防衛手段は、両足の膝か大腿部付近にハンカチを被せたり、持ち合せのバッグを乗せるなどの簡単な方法であった。しかしながら、つい眠気に襲われて自然に両足が開き、大腿部の奥まで周辺に居る男達の視線にさらされ、大変恥ずかしい思いをした。本発明は、これらの悩みを解決するものである。

【０００３】

【課題を解決するための手段】本発明は椅子に腰を下ろしたまま、両足が自然に開かないように、バンドを膝または大腿部付近に簡単に素早く装着し、立ち上がるときは混乱することなく、瞬時に解けるようにしたものである。つぎにその構成を図面で説明する。

（１）図１は本発明の表面５を示した斜視図であり、細長いバンド１の一方の端部に手に握り易い把手２を設け、もう一方の端部にマジックテープ３を固着して設けている。

（２）図２は本発明の裏面６を示した斜視図であり、把手２側の端部にマジックテープ３を固着して設けている。

（３）図３は本発明を一つの輪の状態にしたことを示す斜視図であり、ペアのマジックテープ３３′がお互いに

2

上下に相対して位置し、また、必要に応じてバンド１の一部に、ふりる４を着脱自在に設けていることを示している。

（４）図４は本発明の実施例を示す斜視図であり、バンド１を両足の大腿部周辺を下から上へ巻き上げ、両足が開かないようバンド１の双方の端部をペアのマジックテープ３３′で着脱自在に固定している。そして、バンド１の一部に設けたふりる４が、両膝や大腿部の谷間が見えないように覆っていることを示している。

【０００４】

【作用】バンド１の裏面６を上に向け、両膝から大腿部の間を下からすくい上げて、把手２が膝又は大腿部の上になるように巻き付ける。そして両膝が密着するようにバンド１の両端を絞り、上下になったペアのマジックテープ３３を重ね合わせ、手で強く押圧する。したがって、両膝又は大腿部はバンド１によって縛られた形となり、両足が自然に開かないようになる。また、必要に応じてふりる４をバンド１の一部に着脱自在に設けると、大腿部の谷間やその奥を効果的に隠すことができる。また椅子から立ち上がるときは、手で把手２を上へ引っ張ると、ペアのマジックテープ３３は瞬時に外れ、もとの１本のバンド１に素早く解くことができる。また、バンド１を使用しないときはロール状に巻き、持ち歩きに便利なようにコンパクトに携帯するとができる。

【０００５】

【発明の効果】（１）両足が開かないよう、大腿部に余分な力を入れないで済むので足が疲れない。

（２）つい眠気に襲われ、足の筋肉が緩んでも自然に両足が開く心配がない。したがって、ミニスカートの女性が長時間椅子に腰を下ろしても、大腿部の谷間や奥を覗かれる心配がない。

（３）両足が乱れないので足元が美しく見える。

（４）腰部に巻くと腰痛の腰バンドとして応用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の表面を示す斜視面である。

【図２】本発明の裏面を示す斜視図である。

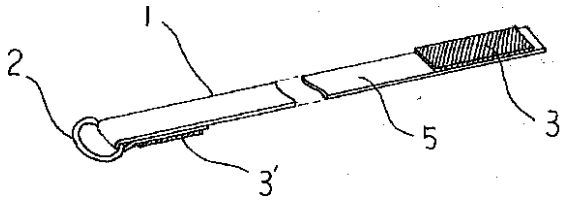
【図３】本発明が輪の状態になったことを示す斜視図である。

【図４】本発明の使用中の実施例斜視図である。

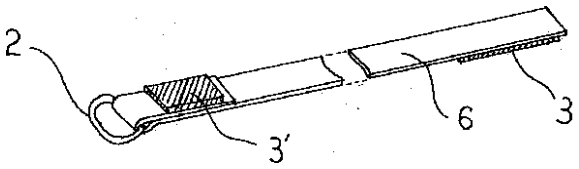
【符号の説明】

１バンド　　２把手　　３マジックテープ
３′マジックテープ
４ふりる　　５表面　　６裏面

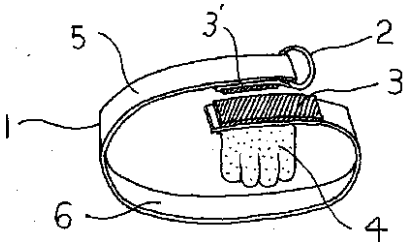
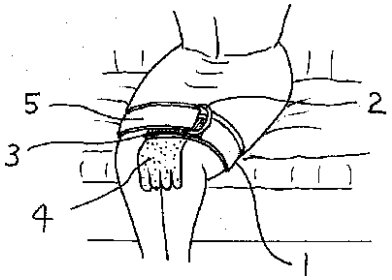
【図１】



【図２】



【図３】



【図４】